

大阪経済記者クラブ 各位

2007年度の関空国際物流効率化モデル事業の実施について

国際物流戦略チーム

国際物流戦略チーム（本部長：下妻関経連会長）は、下部組織の関空国際物流効率化推進協議会での関係者間の協議・検討のもと、わが国唯一の複数滑走路を備えた完全24時間運用空港である関西国際空港を活用した国際物流効率化に向けて、モデル事業実施などの取り組みを積極的に進めております。昨年度に実施した関空＝上海間の深夜貨物便の運航によるモデル事業については、リードタイムの1日短縮により、アジア翌日配達圏が実現できることを検証できたところであります。

今年度の関空国際物流効率化の取り組みについては、深夜貨物便のさらなる誘致・活用に加えて、北米方面をターゲットに航空貨物便ネットワークの強化に寄与するモデル事業を検討してまいりました。

特に、北米方面については、関西・西日本の輸出航空貨物の3割以上が成田空港を利用していることから、関空発の貨物便を強化することにより、関空利用を促進する必要があります。成田空港を経由せず、関空発の北米方面の貨物便を活用してもらえれば、リードタイムが約1日短縮（トラック横持ち輸送の短縮）され、日本側では従来より遅い時間の出荷でも航空機に搭載でき、米国側では到着日中に配送できることから、ドア・ツー・ドアでの物流効率化に大きな効果が期待できます。

今般、このような効果の検証を行うため、関空＝北米間の新規就航貨物便を中心に、下記のとおり、今年度の関空国際物流効率化モデル事業を実施することにしましたので、お知らせいたします。

記

《2007年度の関空国際物流効率化モデル事業の概要》

1. モデル事業の目的：

- ・ 関空＝北米間の新規就航貨物便を中心に、関西及び西日本の荷主企業に対して利用促進をプロモーションするとともに、貨物の追跡調査等を行うことにより、成田空港を経由せずに関空便を利用することによる物流効率化の効果等を検証することにより、北米方面への関空の航空貨物便ネットワークのさらなる強化につなげる。

2. モデル事業の期間：2007年11月5日～2008年3月末

3. モデル事業対象の貨物便（新規就航便等）

(1) 日本貨物航空（2007年10月29日から運航開始、週2便、機材 B747）

曜日	関空発	ロサンゼルス到着 (現地時間)	ロサンゼルス発 (現地時間)	関空着	曜日
月曜	09:00	02:20	01:30 (サンフランシスコ発 04:30)	11:35	土曜
水曜	09:50	03:10 (サンフランシスコ着 06:20)	16:50	21:55	日曜

注：2008年1月から、関空の土曜発（08:45）ロサンゼルス到着（02:05）が増便予定。

(2) 日本航空インターナショナル（2008年1月6日から運航開始、週1便、機材 B747）

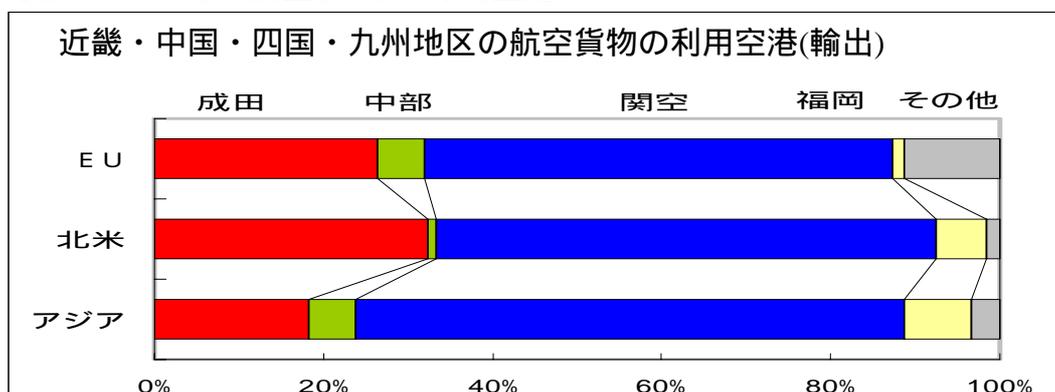
曜日	関空発	ロサンゼルス到着 (現地時間)	ロサンゼルスからの戻りは成田空港 (モデル事業の対象外)
日曜	08:20	01:20	

注：1ヶ月間のトライアル運航を行い、その後の運航継続を検討。

(3) 全日本空輸（2008年1月7日から運航開始、週4便、機材 B767）

曜日	関空発	シカゴ着 (現地時間)	シカゴ発 (現地時間)	関空着	曜日
月曜	10:00	09:40	22:15	05:40	月曜
火曜	22:15	21:25	11:45	19:10	火曜
木曜	22:15	21:25	22:55	06:20	木曜
土曜	21:35	20:45	22:55	06:20	土曜

【備考】西日本発の航空貨物の利用空港



出所：財務省・税関「平成18年9月輸出入貨物の物流動向調査」より作成

現状、フォワーダー会社や航空会社は、相当台数のトラックを使い、関西および西日本から貨物を成田空港へ陸送している。
その結果、トータルのリードタイムは約1日余分にかかっている。

本件のお問い合わせ先：

関西経済連合会 地域グループ長 藤原 06-6441-0107

以上